事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の	有無 有 ▼		電話 042 (769) 8263
担当部課名	土木部	道路整備	課 ▼	都市計	画道路 班 ▼
事務事業名	都市計画道路改良事業(市内一円)		事業コード	32120
1 総合計画における位置づけ					

政策名	第	2	章	質の高い都市基盤の整備を進めます。	事業	開始年度
基本施策名	第	1	節	骨格幹線道路網の整備	13	年
施策名	第	2	施策	市内幹線道路の整備	13	→

2 実施根拠及び関連法令等 都市計画法、道路構造令、道路法

3 事業概要

- 3-20-1-20		
(1)事業の目的		(2)対象(誰、何)
本事業は、相原4・5丁目土地区画整理事業に伴い区画 路相原宮下線を暫定的に道路整備するものである。	画整理地内にある都市計画道	通過車両、自転車及び歩 行者
西伯原古下級で自定的に原由を開する 000 000 000 000 000 000 000 000 000 0		
		対象 数 不特定多数
(3)平成13年度事業の内容	(4)総合計画・実施計画に	おける概要
都市計画道路相原宮下線道路改良工事 工事延長 L = 75.0 m 道路幅員 W = 16.0 m	なし	
	(5)個別計画の概要	
	計画名	
	計画年次年	度~ 年度

評価指標

指標名	整備実施率	
指標式	当該年度の整備延長 / 予定整備延長 * 100	
指標設定の意図	計画的な整備箇所の供用	

5 目標と実績 〔金額単位:千円〕

ا د								「正は十四・」」)
	/	平成11年度	平成12年度	平	成13年度(訂	平価文	象年度)	平成14年度
		実績	実績		実績		目標	目標
	指標			а	75	۵	75	
	指標			C		а		
	指標			е		f		
	決算 (予算)額				4,777		5,000	45,000
事	人員・時間数				0.3人		0.3人	
業	人 件 費				2,526		2,526	
表	その他経費				0		0	
	合 計	0	0		7,303		7,526	45,000
	持定 財源				0		0	

6 個別評	価				
	・・・ 目標をどれだけ遺	を成したか	١		
評価	A:達成している	('	100%)		
A 🔻	B:一部達成している	CL 1 (100%	> 80%) = ,	、 の平均値 =	100.0%
Į.	C : 達成していない	(80%>)		
а	75.0	400.0%	С	100	e100
b	75.0 × 100=	100.0%	d	−× 100=	x 100=
	先行的に土地区画整	理事業に	より取得した都市計画道路	用地のため、周辺は	犬況に応じた道路整備を行った。
理由:					
(a) V=U	n+ /\ ->- /\> ->- /	1 + W	1. 		
	・・・・時代変化に適応し				セッウクをサミト む 供 バンディナス
評価	A : 適応している B : 一部適応していない	理由:	地域内の囲道父囲や	目転単及び歩行	者の安全を考えた整備が必要である。
A -	C:適応していない				
(2) 级这世	t·効率性・・・費用対効	甲什茲2	<u> </u>		
評価	A:妥当である	理由:		&借区域内の植料	は地(築山)として利用したことから、経済
A -	B: 一部妥当でない	ж щ.	性に優れている。		(元) (米田) こびて行りひにここがら、歴史
	C:妥当でない		121012111011		
(4)事業 <i>0</i> .)代替性・・・県、民間と	の役割	分担のあり方から見て、	市が実施していく	ことが適当か
評価	A:代替の可能性ない	理由:	都市計画道路事業で	あるため、道路管	理者が実施していく事業である。
A 🔻	B:代替の可能性低い				
	C:代替の可能性高い				
	ត足度···対象市民の				
評価	A:満足できる	理由:			情であり、連続性が無いため、交通安全
В ▼	B:一部満足できない		上一方通行の形態とな	った。	
(6)右动地	C:満足できない セ・・・当該事業は上位(<u> </u> の体生を	 実用する トで右効か		
評価	A:有効である	理由:		促進するトで 田	地の確保及びその道路用地の適正な
A ▼	B:一部有効である	连四、	整備は必要である。	促進する工で、用	地の惟体及びその追跖所地の過止な
Λ Ψ	C:有効でない		正備は必女でのも。		
	-			成果向上の余地	
評価バ		成度 I			説明:
	A			┌ ある	都市計画道路としての連続性が無い
	В	↓ \			ため、区画整理区域外の用地確保が必
	有効性		必要性	□ない	要である。
	/ × C	† ./'			
	\ \				
		*		コスト改善余地	124.55
	\times c	+			説明:
	市民満足度		経済性·効率性	□ ある	事業にかかる経費をこれ以上圧縮す
	В	† /		- t> 1)	ることは困難である。
	Δ			☑ な い	
	事業の	」 D代替性			
7 松今並佈					
7 総合評価	Щ	l .	- 仙白公休にむいて+	生行取得した約3	も計画道段田地の敷借においては 国
	^^	ĺ	に日戸中にのいても、	元1] 玖1寺 いた制り	市計画道路用地の整備においては、周

	<u> </u>		
評価	AA ▼		他自治体においても、先行取得した都市計画道路用地の整備においては、周辺道路整備の状況及びその整備時期等を勘案し、道路整備の手法について同様に実施している。
計 1W 			様に実施している。
4	後の進め方	較	
✓	継続		
			事業実施にあたっては、周辺道路整備の状況及びその整備時期等を勘案し、整
	見 直 し		備していくことが必要である。
	廃止	説明	
	完 了		

8二次評価における変更点